

# 米山奨学生終了式・歓送会 報告

米山奨学委員会 委員 **石井博章**

(吹田RC)

日 時：平成27年2月28日(土) 17:00~19:40

場 所：ハイアットリージェンシー大阪 ゲストハウス「ハーモニー」

参加者：若林紀男PG、岩田宙造PG、西邨智雄IM3組G補佐、磯田郁子地区研修委員、  
何玉翠米山奨学生学友会(関西)会長、大阪ハイテクノロジー専門学校 山上直子様、  
大阪日本語教育センター 辰馬玲様、大阪スクールオブミュージック専門学校 木村容子様、  
近藤菜穂子米山奨学委員長、福田治夫副委員長、古城紀雄副委員長、田中隆弥副委員長、  
西谷雅之委員、三木得生委員、北山治信委員、堀隆委員、島井宏子委員、岡部倫正委員、  
吉馴茂子委員、鹿浦英毅委員、石井博章委員、クラブ会長、カウンセラー、  
クラブ米山奨学委員長、学友会会員

2014年度米山奨学生終了式・歓送会が2月28日、ハイアットリージェンシーで行われた。本年度の終了生は29名であった。

終了式では近藤米山奨学委員長の歓送の言葉、米山奨学生への終了書の授与、奨学生を代表しアブデルアール・アハメド・マハムード・ムハンマド君(大東中央RC、エジプト)の終了生代表挨拶、若林PG(米山奨学会常務理事)の激励の挨拶があった。

## 「近藤米山奨学委員長の歓送の言葉」

奨学生は次の3つのことを習慣づけてより良い人生を歩んでほしい。

1つ目は目標をもつこと。2つ目は自ら進んで行動する。3つ目はまず相手を理解してから自分を理解してもらうこと。これからの人生で壁にぶつかることがあるが、一人で乗り越えることが難しいときはチームで乗り越えるようにしてほしい。そのためにも学友会組織を大切にしてください。そして、ロータリーの奉仕の精神を持ち続けてほしい。

## 「アブデルアール・アハメド・マハムード・ムハンマド君の代表挨拶」

今までお世話になったことに対し私たちは恩返しをしなければならぬ。これからも日本と自国の架け橋となるよう頑張っていきたい。

## 「若林PGの激励の言葉」

現在、米山奨学生のOB・OGが1万9000人いる。諸君はロータリーで学び大きな財産を作り上げた。全世界には1万9000人の諸君の先輩がいる。これ

からの人生ではロータリーの精神がきっと役に立つと確信している。ロータリーの会員はこれからも諸君を見守っているのだから、これからお世話になったクラブと密接な関係を続けてほしい。

終了式の後、参加者全員で記念写真を撮り、歓送会を行った。岩田PGより祝辞と乾杯の音頭があった。会食の間には馬 恵英さん(大阪咲洲、台湾)からのスピーチがあり、何組かのお世話になったカウンセラーからの激励の言葉と奨学生のお礼の言葉の発表があった。最後に米山学友会(関西)の何玉翠会長から祝辞、福田次年度米山奨学委員長から閉会挨拶があり、「手に手つないで」を歌った後、お開きとなった。

## 「岩田PGの祝辞」

本年度は29名が終了式を迎えた。これからもロータリー精神を大事にし、ロータリーとの交流、学友同士の交流を大切にしたい。その上で、日本と諸君の国の架け橋となり、国際社会での活躍を期待している。

